

<きらっとあさひ福祉大会>で ニュータウン地区の活動を紹介

2月8日（土）に旭公会堂で第13回きらっとあさひ福祉大会が開催されました。主催は、旭区社会福祉協議会、旭区連合自治会町内会連絡協議会、旭区役所です。
<オープニング>は支援学校卒業生「はっぴオールスターズ」のパフォーマンス

<第一部>は地域で長年福祉活動に貢献した人の社会福祉功労表彰で、ニュータウン地区からは2名が受賞
<第二部>は活動事例紹介で、県立よこはま看護専門学校の学生さんとニュータウン地区住民との交流活動が発表されました。



第一部

社会福祉功労表彰では、ニュータウン地区から「チョコットしえんたい」のメンバーお二人が受賞。長年の地域貢献に心から感謝申し上げます。



●**鵜飼明夫さん**
活動歴17年
草創期からのメンバーで、現在は会計監査でご活躍です。



●**島原幸雄さん**
活動歴14年
庭木の剪定や草刈りなどで活動。現在は副会長でご活躍です。

第二部

福祉活動の事例紹介では、看護専門学校とニュータウン地区との交流活動を発表。出井善次地区社協会長から、学生との交流活動の概要が説明されました。

「活動のきっかけは、近隣の県立よこはま看護専門学校の校長先生がニュータウン地区連合町内会会長宅を訪問したことでした。学校側では住民との交流が学生の成長に繋がること、連合にとっては地域が活性化することで意見が一致。そこで地区社協が主催する<福祉まつり>に学生20数名を受け入れて『ロコモダンス』『健康チェック』の支援をお願いし、看護専門学校の学園祭である<やまゆり祭>にニュータウン地区かがやきクラブのメンバーが『ポッチャ』や『お作法教室』の支援をしています」



<編集後記>2024年度も終わり、4月から新しい年度が始まります。5年間を見据えた第4期旭区地域福祉保健計画の4年目が終わります。目指すのは「住んで良かったと思える街ニュータウン」です。先日観たTVドラマで俳優が語ったセリフ「人が集まれば街が出来るのではなく、人との繋がりが出来て初めて街になる」が印象的でした。先月の<きらっとあさひ福祉大会>で、よこはま看護専門学校の学生さんとニュータウン地区住民との交流活動が発表されましたが、学生と住民との繋がりに、少しずつですが旭区地域福祉保険計画の目指す街に近づいていると感じています。(小菅)

◆発行責任者 / 連合町内会 会長 山内良夫 社会福祉協議会 会長 出井善次
◆編集委員 / 阿久井直美 宮崎均 小菅昭 福本瑠美子 小川美枝子 石村保子 正田香 小野寺慎一郎

二俣川ニュータウン地区ホームページ
連合町内会 : <https://www.futamatagawa-newtown.com>
社会福祉協議会 : <https://fnt-shakyo.sakura.ne.jp/>



二俣川ニュータウンだより

Vol.14

◆編集・発行 二俣川ニュータウン連合町内会 二俣川ニュータウン地区社会福祉協議会

2025(令和7)年
3月15日発行

171人が町内を快走！^{第39回}ニュータウンマラソン大会

昨年11月30日（土）、連合町内会が主催し、町内会、各種団体及びスポーツ推進委員連絡協議会の計72名が運営に携わった<第39回ニュータウンマラソン大会>が、快晴無風の中、あきにれ公園を中心に1周2kmの周回コースで実施されました。

部員40名を擁する旭中学校陸上部が、昨年より新設された横浜市中学冬季陸上競技大会のため、このマラソン大会に不参加となったのは残念でありましたが、小学生低学年男女の部から45歳以上男女の部までの9種目に171名の選手が参加し、皆さん健脚を競いました。中でも成人男子45歳以上の部で圧倒的な強さを発揮し、優勝を果たした川村佳史さんの三連覇はお見事です。

各種目とも3位までに入賞した選手には、金銀銅のメダルが授与され、小学生の部では10位までの選手に記録証が授与されました。皆さん、頑張って走り切りました。外気温11℃と寒い中を、大会を運営いただいた町内会、各種団体、学校関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。



あきにれ公園で、選手の受付が始まりました



スタート前、入念に準備運動をする参加者たち



多くの観客に見守られ、小学生低学年男子の部がスタート！



入賞者にはメダルと記録証を授与

| | |
|--|--|
| 1.小学生低学年女子の部 2km 1位 岩崎 結希 10分03秒 2位 江原 玲衣 10分35秒 3位 中原 伊尋 10分37秒 | 6. 45歳以上女子の部 2km 1位 荻野 裕美 9分09秒 2位 大竹 陽子 13分58秒 3位 荒野 三奈 14分00秒 |
| 2.小学生低学年男子の部 2km 1位 小林 優斗 9分35秒 2位 吉岡 遼 9分37秒 3位 大熊 陸斗 9分42秒 | 7. 45歳以上男子の部 4km 1位 川村 佳史 16分06秒 2位 白金 敏彦 18分22秒 3位 土屋 賢二 18分32秒 |
| 3.小学生高学年女子の部 2km 1位 柳 杏奈 9分03秒 2位 古江 杏菜 9分14秒 3位 松橋 葵 9分18秒 | 8.一般女子の部 2km 1位 久保田 彩 11分34秒 2位 牧野 美帆 11分45秒 3位 中野麻衣子 11分53秒 |
| 4.小学生高学年男子の部 2km 1位 門脇 圭祐 8分10秒 2位 フォレ恵幹有杏 8分44秒 3位 木下 春斗 8分52秒 | 9.一般男子の部 4km 1位 青田 充 16分16秒 2位 松本雄一郎 17分03秒 3位 菊池 啓太 17分23秒 |
| 5.中学生女子の部 2km 1位 鈴木 瑠華 13分18秒 | |

「モルック」を知っていますか？

昨年12月15日（日）、冬日の中、今宿中沢公園で青少年指導員連絡協議会主催の「モルック大会」が開催されました。子どもと大人を合わせて30人程が参加し、楽しく盛り上がったイベントとなりました。

午後1時に全員集合。モルックが初めての人のためにルールの説明と実演を行った後、チームを結成。2コートに分かれて対戦を進めていきました。勢いよくスキttlを弾く人や惜しくも狙った通りに投げられず悔しがる人、50点オーバーして点数が戻り残念がる人など、みんな最後は「もう1ゲームしたい」とリクエストが出るほどの熱中ぶりでした。

終了後には参加賞を受け取り、うれしい笑顔で大会を終えることができました。来年以降も楽しいイベントを企画いたしますので、ぜひ皆さんご参加ください。



＜解説＞モルック競技は、フィンランドの伝統的なゲームを元に考案された気軽なスポーツで、少しボーリングと似ています。投げる棒をモルックと呼び下手投げで軽く投げて、立っている木製のピン（スキttl）を倒すスポーツです。

社協もちつき大会に1,200人以上が来場！

2月1日（土）、中沢小学校の校庭で社協主催の第25回もちつき大会が開催されました。1,200人以上の来場者の皆さんには、美味しいおもちと豚汁を堪能していただきました。用意したもち米（80kg）を一晩水に漬け、セイロで蒸した後は3台の臼でもちをつき、5種類のちぎりもち（粒あん、こしあん、きな粉、大根おろし、みたらし）を

用意しました。

旭中防災拠点運営委員会からは豚汁1,100食が炊き出しで提供されました。会場準備には、地域の各ボランティア団体、そして旭中生徒さん5名の計105名のご協力がありました。もちつき大会を盛大に盛り上げていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

＜ご協力いただいた方々＞（順不同） 地区社会福祉協議会 福祉協力員 青少年指導員連絡協議会 スポーツ推進委員 連絡協議会 保健活動推進委員会 環境事業推進委員会 消費生活推進委員会 チョコッといえんたい 民生委員・児童委員 旭中地域防災拠点運営委員会 サロンあさひ わいわいクラブ 旭中・中沢小保護者ボランティア 旭中生徒さん



関係者一同、全力で作業に当たっていますが、ピーク時にはどうしても長蛇の列ができてしまいます



権藤由紀子区長も参加

二俣川ニュータウン並木愛護会は、美しい景観を守る活動をしています

毎年11月頃になると、二俣川ニュータウン地区を彩る美しい紅葉の季節がやって来ます。住民の目を楽しませた紅葉も落ち葉の時期になると大変です。沿道の方々の中には、高齢化に伴いサポーターを退会される方もいらっしゃいます。その一方、旭中の「地域・防災科」の取組で、2年生がクラスごとに分かれて落ち葉掃きに参加してくれました。掃除を通して地域の方々とふれあい、美化に努めていただき感謝しております。今季も一週間の活動期間の延長となりましたが無事に終了となりました。皆さまご協力ありがとうございました。

＜2024年活動報告＞

活動日時:期間中の火・木・土 9:00～10:00

①こぶし並木通り(第一バス停から中沢町バス停)

10月31日(火)から11月16日(土)

活動:計12回

②銀杏・トウカエデ並木通り(第二バス停から金が谷バス停)

11月16日(土)から12月14日(土)

活動:計13回



皆さまのご協力で並木通りの景観が保たれています



2024年10月27日(日)の役員会で活動日程を決定

並木愛護会ではサポーターを募集しています！

谷バス停までのトウカエデ並木にも広げているため、サポーターの手が足りていません。並木通りの景観を維持するため、ぜひ並木愛護会へのご参加をお願いいたします。

二俣川ニュータウン地区のバス通り沿いには、約250本の銀杏が植樹されています。秋には黄葉の景観が素晴らしく、広く区内に紹介されています。一方、黄葉が終わると大量の落ち葉で歩道が覆われます。雨の日などは歩道上を覆っている落ち葉が濡れてスリッパし易く転倒の危険があるので継続した定期的な清掃が欠かせません。**設立から12年、120名が活動**清掃作業については、沿道の住民だけの対応には限界があるので、平成24年11月に、沿道の住民を含めたサポーター79名で並木愛護会を設立し、現120名で活動しています。しかし、清掃範囲を、第一バス停から中沢町バス停のコブシ並木と金が谷バス停までのトウカエデ並木にも広げているため、サポーターの手が足りていません。並木通りの景観を維持するため、ぜひ並木愛護会へのご参加をお願いいたします。



旭中防災拠点運営委員会が1,100杯の豚汁を無償で提供



おもちは、粒あん、こしあん、きな粉、大根おろし、みたらしです



子どもたちもおもちつきを体験し、とても喜んでいました



3台のバーナーを使い、もち米をセイロで50分間蒸します